



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月10日

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社
 コード番号 1414 URL <http://www.sho-bondhd.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報管理部長 (氏名) 鈴木 成章

TEL 03-6892-7101

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	40,321	3.4	8,830	1.8	8,991	1.5	6,006	4.3
28年6月期第3四半期	41,722	1.3	8,675	3.4	8,861	3.5	5,757	7.5

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 6,758百万円 (39.4%) 28年6月期第3四半期 4,846百万円 (20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	223.19	
28年6月期第3四半期	213.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	84,707	67,806	80.0	2,519.31
28年6月期	77,327	63,701	82.4	2,366.79

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 67,806百万円 28年6月期 63,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		27.00		60.00	87.00
29年6月期		40.00			
29年6月期(予想)				60.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成29年5月10日)公表いたしました「平成29年6月期 期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	0.6	9,800	5.3	10,100	4.7	6,800	8.5	252.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	29,102,590 株	28年6月期	29,102,590 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	2,187,878 株	28年6月期	2,187,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	26,914,751 株	28年6月期3Q	26,914,903 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成28年7月1日～平成29年3月31日)における当社グループの連結業績につきましては、国、地方自治体および高速道路会社からの受注が好調に推移したことにより、受注高は前年同期比19.2%増の487億12百万円となりました。

売上高につきましては、着工までの準備期間を要する大型工事が増加したこと等により、前年同期比3.4%減の403億21百万円となりました。

損益につきましては、原価管理の徹底により粗利益率が改善したため営業利益は前年同期比1.8%増の88億30百万円、経常利益は同1.5%増の89億91百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同4.3%増の60億6百万円となりました。

各セグメントにおける、受注実績、売上実績及び受注残高は次の通りです。

受注実績

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
国内建設	39,181	46,860 (19.6%)
その他	1,684	1,851 (9.9%)
合 計	40,866	48,712 (19.2%)

表中の百分率は、対前年増減率

売上実績

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
国内建設	40,038	38,469 (△3.9%)
その他	1,684	1,851 (9.9%)
合 計	41,722	40,321 (△3.4%)

表中の百分率は、対前年増減率

受注残高

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結会計期間末 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成29年3月31日)
国内建設	23,050	33,472 (45.2%)
その他	—	— (—%)
合 計	23,050	33,472 (45.2%)

表中の百分率は、対前年増減率

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度末より7,379百万円増加し、84,707百万円となりました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末より3,274百万円増加し、16,900百万円となりました。これは主に、未成工事受入金、その他流動負債が増加したためです。

純資産は、前連結会計年度末より4,104百万円増加し、67,806百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加、及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年2月10日に公表した通期の連結業績予想を修正しました。

(通期の連結業績予想数値の修正)

区 分	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	53,000	9,500	9,800	6,600	245.22
今回修正予想 (B)	52,000	9,800	10,100	6,800	252.65
増減額 (B - A)	△1,000	300	300	200	
増減率 (%)	△1.9	3.2	3.1	3.0	
(ご参考) 前期実績 (平成28年6月期)	52,334	9,303	9,648	6,267	232.86

(修正の理由)

当第3四半期連結累計期間の業績および受注動向を踏まえ、通期業績見直しを見直した結果、売上高は前回予想を下回るものの、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

2. 完成工事修補費用(特別損失)の計上

前連結会計年度において、当社の子会社であるショーボンド建設株式会社およびその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査および修補に伴う費用のうち当第3四半期連結累計期間に発生した180百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、今後、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、調査の過程で新たに損失が発生する場合や、製造会社からの回収状況により、連結業績に今後影響が生じる可能性があり、その時期および金額等については現時点では合理的に見積もることが出来ません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	15,081	12,560
受取手形・完成工事未収入金等	15,842	23,263
有価証券	14,406	14,101
未成工事支出金	28	136
その他のたな卸資産	614	749
繰延税金資産	214	290
その他	1,434	1,183
貸倒引当金	△2	△14
流動資産合計	47,620	52,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,146	3,022
機械装置及び運搬具（純額）	69	62
工具、器具及び備品（純額）	83	82
土地	8,683	8,608
有形固定資産合計	11,983	11,776
無形固定資産		
のれん	—	943
その他	151	132
無形固定資産合計	151	1,075
投資その他の資産		
投資有価証券	14,979	17,056
退職給付に係る資産	218	241
繰延税金資産	190	212
その他	2,216	2,105
貸倒引当金	△33	△32
投資その他の資産合計	17,571	19,583
固定資産合計	29,707	32,436
資産合計	77,327	84,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,378	4,803
電子記録債務	3,055	2,781
未払法人税等	1,548	1,627
未成工事受入金	758	1,966
賞与引当金	—	384
役員賞与引当金	171	—
完成工事補償引当金	66	82
工事損失引当金	56	8
繰延税金負債	—	1
その他	2,197	3,658
流動負債合計	12,234	15,314
固定負債		
繰延税金負債	1	246
土地再評価に係る繰延税金負債	340	323
退職給付に係る負債	956	943
役員退職慰労引当金	19	8
その他	72	64
固定負債合計	1,392	1,586
負債合計	13,626	16,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	36,013	36,013
利益剰余金	28,898	32,252
自己株式	△3,748	△3,748
株主資本合計	66,163	69,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,213	2,029
土地再評価差額金	△3,462	△3,500
為替換算調整勘定	△17	△6
退職給付に係る調整累計額	△195	△232
その他の包括利益累計額合計	△2,461	△1,710
純資産合計	63,701	67,806
負債純資産合計	77,327	84,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	41,722	40,321
売上原価	30,811	29,102
売上総利益	10,911	11,218
販売費及び一般管理費	2,236	2,388
営業利益	8,675	8,830
営業外収益		
受取利息	61	54
受取配当金	51	57
受取保険金	32	13
受取賃貸料	32	34
その他	26	22
営業外収益合計	204	182
営業外費用		
支払手数料	5	5
賃貸費用	6	6
その他	5	8
営業外費用合計	18	20
経常利益	8,861	8,991
特別利益		
固定資産売却益	0	33
投資有価証券売却益	—	212
その他	—	26
特別利益合計	0	271
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	152
完成工事修補費用	92	180
特別損失合計	93	333
税金等調整前四半期純利益	8,768	8,930
法人税、住民税及び事業税	2,938	3,041
法人税等調整額	73	△117
法人税等合計	3,011	2,923
四半期純利益	5,757	6,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,757	6,006

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	5,757	6,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△830	815
土地再評価差額金	18	△38
為替換算調整勘定	△11	10
退職給付に係る調整額	△86	△36
その他の包括利益合計	△910	751
四半期包括利益	4,846	6,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,846	6,758
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
外部顧客への売上高	40,038	1,684	41,722	—	41,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,781	1,781	△1,781	—
計	40,038	3,466	43,504	△1,781	41,722
セグメント利益	8,039	592	8,632	42	8,675

(注)1 「その他」には、「海外建設」、「製品製造事業」を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次の通りです。

	金額 (百万円)
セグメント間取引消去によるもの	187
セグメントに配分していない全社費用(注)	△148
その他の調整額	3
計	42

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
外部顧客への売上高	38,469	1,851	40,321	—	40,321
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1,507	1,507	△1,507	—
計	38,470	3,358	41,829	△1,507	40,321
セグメント利益	8,134	652	8,787	42	8,830

(注)1 「その他」には、「海外建設」、「製品製造事業」を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次の通りです。

	金額 (百万円)
セグメント間取引消去によるもの	190
セグメントに配分していない全社費用(注)	△146
その他の調整額	△1
計	42

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内建設」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を特別損失に計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において152百万円であります。